寸談　放談

常識の問題

イギリスとアルゼンチンの紛争は種々な意味で気のもめる話題である．4月2日，アルゼンチン軍はフォークランド諸島を軍事的に占領し，一方，イギリスは艦隊を派遣，ポートスタンリー空港を爆撃し，海空からフォークランド諸島，南ジョージア島，南サンドイッチ島の周辺200カイリ以内を封鎖すると宣言している．アメリカは仲裁に乗り出したが，いつのまにかイギリスに協力するといっている．何かよくわからない話である．

すでに石油の価格が上がり始めているというし，はた迷惑ということだ．

先日，イギリスからのある調査団の来訪を受けた時に，“皆さんのお気持ちはいかがですか”と聞いてみたら，“イギリスはチャールズ王子の結婚式に金を使いすぎて，もう戦争をする金がない”と，おどけていた．おそらく庶民の本音であろう．旧式な艦隊とはいえ1カ月以上も行動すれば，その費用も数千億円というオーダーであろう．

一方，アルゼンチンの側はもっと大変だろうと思う．建前とか，威信とかのためにお互いに何の益もない武力衝突に空しさを感ずる今日このごろである．

地球上の飢餓人口は10億人ともいわれるが，このような無益な出費を，これら第三世界の技術援助に向けることができれば，南北問題の解決，貿易摩擦の解消など，すばらしい効果を期待し得ることであろう．

日本は今春たけなわ，楽しみにしていたゴールデン・ウイークも雨が多くいまひとつ冴えない．雨の合間をぬって中央道をドライブしてみた．もう桜の花は少なかったが新緑が実に美しい．

例年，今頃になると前年度の高額所得者の番付表が発表される．56年度の番付表をみると，土地長者が番付上位100人中約70%を占めているとか，国会議員の年間所得が歳費だけというサラリーマン議員が85人もいるとか，まったく胸くそが悪くなるのも例年どおりであった．その中でも拍手をしたくなる話題があった．漫画“アラレちゃん”の作者某氏(27才)が5億3924万円，“なめねこ”のプロデューサー某氏(31才)が9472万円，まったくよく稼いだものである．一過性の波に乗ったまでといってしまえばそれまでのことであるが，努力して稼いだという点では土地長者や国会議員よりも，ずっと好感がもてる．

自分で波を作って売りまくった努力は立派である．そのためには大変な努力を払ったことであろう．

各方面の経済見通しが発表されているが，いずれも低成長という予測である．電子産業関係のような成長産業を除けば，57年度のやりくりは悪戦苦闘の可能性が強いと思う．しかし不況だから売上げは減りました，不況だから倒産しました，では自滅するしかないのである．

生き残るためには自分で波をおこすしかないのである．そういう意味で“アラレちゃん”と“なめねこ”に拍手を送りたい．

波をおこし売りまくるためにはORも有力な武器となり得るはずだ．ORは元来常識の科学であり，私は“多勢に無勢は適わない”という常識をモデル化した「ランチェスターの2次法則」を読んだ時の感激を今でも忘れられない．企業のOR屋にとって一番大切なことは，その企業の経営を知り常識的に観察することができるということである．モデルや数値計算については研究を委託することも可能であるから，手法にとらわれずに自由に常識的にものを考えるべきである．

春の研究発表会は名城大学で開催され，たいへんな盛会であった．しかし，ひとつ残念であったのは，OHPを使った発表の中で，スクリーンを見ているかぎり判読できないものがあった．字が小さく，しかも薄く書かれているので，せっかくの発表も聞いている人には理解できなかっただろうと思う．発表するからには聞く人々にとって常識的にわかるようにやってもらいたいものである．研究発表は限られた時間内にキチンと説明しなければならないことでもあり，リハーサルをやって人の意見も聞きながら道具やシナリオの準備をするくらいの心がけがあってほしいものである．とかく“ORはむずかしい”とか“ORはわかりにくい”とかいわれているので，なおさらのことである．だれでも自分の常識で理解できないものに対しては評価を拒むものであり，これも常識である．

(M.M.)

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．